

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	あさくら看護学校
設置者名	一般社団法人 朝倉医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	56	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.asakura-med.or.jp/school/information.php

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第 2 号の 2 - ② 【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2 - ①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	あさくら看護学校
設置者名	一般社団法人 朝倉医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営委員会
役割	教育理念に沿った教育課程の編成。実施状況、学生の就職状況や退学者減少への取り組み、学校の財務状況などの観点から適切な運営がなされているかの評価や意見を学校運営に反映させ円滑な運営を図ることを目的とする

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
医師	令和 4 年 7 月 1 日～ 令和 6 年 6 月 30	朝倉医師会会員
医師	令和 4 年 7 月 1 日～ 令和 6 年 6 月 30	朝倉医師会会員
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	あさくら看護学校
設置者名	一般社団法人 朝倉医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 以下のスケジュールで授業計画の作成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次年度のシラバスに生かせるよう、日頃から授業終了時など講師と一緒にシラバスの問題点などを検証している。 2. その検証を基に12月頃より作成に入る。 3. 2月頃、教務主任が中心となり、講師と交え修正を行う。 4. 3月に完成したものを学生・教員・講師に配布している。 <p>記載内容として授業科目、ねらい、授業回数・スケジュール、授業方法、成績評価の方法や留意点、単位・時間を明示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 完成した授業計画書(シラバス)を各学年それぞれ、ホームページに公表している。 	
授業計画書の公表方法	https://www.asakura-med.or.jp/school/information.php
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業履修は、教育課程の履修に関する必要な事項・科目を定め、これを全科目履修しなければならないことを明記し学生に説明している。授業科目の評価に関しては筆記試験またはそれに準ずるもの(演習レポート・実技試験)に合格したものに対して単位認定会議を経て、当該科目の修了を認定し、所定の単位を与えることを学則に明記し学生に説明している。 2. シラバスに授業科目の概要・到達目標・評価方法及び評価基準を記載し学生に周知している。 3. 筆記試験については問題作成者以外がチェックを行い透明性の確保をしている。また、教員の試験作成に関し研修を実施しレベルアップを図っている。 4. 実技試験は事前に学生に評価基準を明示しており、実技試験の前後で教員間においてその内容を検討・評価している。 5. レポートは評価基準を明確にして学生に提示している。 6. 成績評価については前期・後期・3月(全期)として単位認定会議を実施し校長・理事・全教員で単位認定を行っている。 入学前単位認定については単位認定会議・学校運営会議を実施し、1人1人検討した上で認定を行っている。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全教科の素点を一覧にしている。 2. 全教科の成績平均を出し、成績順に並び替えている。 3. 上位・中位・下位の成績の人数及び割合を出している。 4. 上記3. の割合を各回生の同年と比較し分布状況を把握している。 5. 令和4年度からGPA導入の為の準備段階である。(具体的な学生への運用は令和5年度からの予定としている) 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.asakura-med.or.jp/school/information.php</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則に定める授業科目における単位の認定を受けた者で、出席日数・卒業試験の成績結果などを定めた卒業要件に基づき、卒業認定会議において、校長・副校長・教務主任・実習調整者・専任教員が卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.asakura-med.or.jp/school/information.php</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	あさくら看護学校
設置者名	一般社団法人 朝倉医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	請求があれば書面にて公開しています。
収支計算書又は損益計算書	請求があれば書面にて公開しています。
財産目録	請求があれば書面にて公開しています。
事業報告書	請求があれば書面にて公開しています。
監事による監査報告（書）	請求があれば書面にて公開しています。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	103 (98) 単位時間/単位 単位時間/単位	33 (75) 単位時間 /単位	47 単位時間 /単位	23 (23) 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		103 (98) 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		118人	0人	9人	67人	76人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 以下の点に重点を置き、授業計画の作成に取り組んでいる。 1. 次年度のシラバスに生かせるよう、日頃から授業終了時など講師と一緒にシラバスの問題点などを検証している。 2. その検証を基に12月頃より作成に入る。 3. 2月頃、教務主任が中心となり、講師を交え修正に入る。 4. 3月に完成したものを関係者全員に配布している。 記載内容として 授業科目、ねらい、授業回数・スケジュール、授業方法、成績評価の方法や留意点、単位・時間を明示している
成績評価の基準・方法
（概要） 講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。 科目の評価は優・良・可・不可（60点未満）の4段階とし、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） [進級] 教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること・ [卒業] 本校にて履修すべき科目の全てにおいて単位履修の認定を受け、卒業認定会議において校長・副校長・教務主任・実習調整者・専任教員が卒業を認定する。

学修支援等 (概要) クラス担任、教務主任による面談の実施。スクールカウンセリングの実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	2人 (5.4%)	35人 (94.6%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 福岡県内外の病院などの医療機関			
(就職指導内容) 医療関係者フォーラム(就職説明会)の実施 業者(㈱マイナビ)による就職ガイダンスの実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) 令和4年度 看護師国家試験 受験者数37名 合格者数37 (種別: 国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を有するもの)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	5人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更・体調不良・その他		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教務主任による面談の実施。スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	300,000 円	570,000 円	160,000 円	その他のうち 60,000 円は実習費、施設維持費は 100,000 円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
納付金は令和 4 年度以降の情報。以前の納付金は入学金 300,000 円、授業料 540,000 円 その他 260,000 円 (実習費 60,000 円、施設維持費入学時 200,000)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.asakura-med.or.jp/school/information.php		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
地区役員など団体関係者や保護者代表、卒業生代表から選出された 8 名で構成される。自己評価の結果に基づき教育理念・教育目的、教育目標や事業内容の妥当性、財務状況の安定性、就職・進学、地域交流などを評価し、改善点・問題点を明確化する・また、その内容を広く社会に公表し、質の高い教育や安定した運営ならびに地域に貢献できるよう改善に向けた目標の策定・取り組みを具体化する・改善方法の実施時期は年度計画及び 3～5 年の中・長期計画で実施し、責任者は委員長 (副校長) とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
朝倉医師会	R4. 4. 1～R6. 3. 31	学校担当理事
自治区 区長	R4. 4. 1～R6. 3. 31	団体関係者
講師	R4. 4. 1～R6. 3. 31	外部講師
保護者	R4. 4. 1～R6. 3. 31	保護者代表
保護者	R4. 4. 1～R6. 3. 31	保護者代表
卒業生 (5 回生)	R4. 4. 1～R6. 3. 31	卒業生代表
卒業生 (6 回生)	R4. 4. 1～R6. 3. 31	卒業生代表
卒業生 (7 回生)	R4. 4. 1～R6. 3. 31	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.asakura-med.or.jp/school/information.php		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.asakura-med.or.jp/school/ よりメールで請求もしくは電話 (0946-22-5510) にて請求

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H140322800013
学校名	あさくら看護学校
設置者名	一般社団法人 朝倉医師会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		17人	18人	35人
内 訳	第Ⅰ区分	—	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				35人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。